

あおい通信 第63号

尾崎紅葉生誕地の確↓
 増上寺表にそびえる東京タワー↑



写真・文 七海邦夫

世評・時評

百三歳の女性
 性が亡くなる。
 『あの世で長い
 こと私を待って
 いる大事な人に
 電報を打ってあ
 ります。まぢか
 ねて迎えに出ている事
 でしょう。喜びも半分、不
 偶れで心細さもあります
 が、待つ人に会える楽し
 みもあります』沢山の別
 れ、老いに病、風雪に耐
 え抜き、たどり着いた透
 明な境地であろう。うら
 やましい去り際である。
 誰もが鮮やかに旅立
 るわけではないが、終り
 の日々をどう満たせるか
 は万人の関心事だ。

老いて床(とこ)に伏
 す様になったとき、人間
 どの様に生きて来たの
 か、この後どう生き抜く
 のかが問われる。終末を
 過ごす術で人としての価
 値観が違ってくると思え
 ずにはいられない。
 終日ベットにいる人か
 ら『若いときのことを一
 つ一つ思いだして、なに
 も退屈じゃありません』
 そんな言葉を聞くと……こ
 れは次の世に移る大切な
 心の作業なんだと思わさ
 れ俗人は涙がとまらなく
 なる。
 それぞれの人生を背負
 った終末に模範解答はな
 いが、心を乱さず風が吹

増上寺の裏手には東
 京タワーがそびえてい
 る。この敷地も、もとも
 と増上寺と金地院の境
 内だった。明治の頃には
 ここに「紅葉館」という
 料亭があった。
 紅葉館は平民宰相と
 呼ばれた原敬や、西園寺
 公望をはじめとする明治
 の政財界人のほか、坪内
 逍遙らの文人黒客が好
 んで利用したと言う料亭
 で約千九百坪の敷地に
 豪壮な店を構え、その名
 の通り紅葉の眺めが素
 晴らしい庭園と増上寺
 紅葉山からの借景で知
 られていた。
 因みに作家の尾崎紅
 葉は芝生生まれで、最初の
 筆名は増上寺の山号で
 ある「三緑山」にちなん
 で尾崎緑山と付け、のち
 に名乗った「紅葉」もこ
 の増上寺の紅葉山から
 とったものだという。
 紅葉は慶應三年(一八
 六七)十二月十六日、牙
 彫師の子として生まれ
 た。本名徳太郎、首尾稲
 荷には「囀りの下に小さ
 き抜けるが如く遊くのが
 理想である。温かく見送
 る人たちに囲まれて……。
 旅人の荷は軽くして
 送りたいものである。
 皆様には猛暑見舞い申
 し上げます。(ヨッチャン

東京江戸散歩

その貳拾参 芝周辺 ③

き詞かな」と言う彼の句
 碑がある。明治十八年に
 山田美妙らと結成した「硯
 友社」は日本で最初の文
 学団体。紅葉の門下には
 泉鏡花や徳田秋成、巖谷
 小波らの著名な近代文学
 作家が数多くいた。「金
 色夜叉」の主人公「間貫
 一」のモデルは弟子の巖
 谷小波だといわれる。そ
 の一方で紅葉自身が泉鏡
 花の「婦系図」では「先
 生」のモデルにされてい
 る。
 港区役所のそばの常照
 院には浄瑠璃「梅雨小袖
 昔八丈」や大岡政談「恋
 娘黄八丈」人情噺「髪結
 新三」の主人公「日本橋
 お駒」のモデルとなった
 「お能」の墓がある。
 お能は、日本橋新材木
 町(現在の日本橋堀場町
 のあたり)の材木問屋「白
 子屋」の娘とされている。

夫を毒殺しようとした
 罪で処刑されたというが、
 芝居や落語では実家の屋
 号を日本屋、城木屋などと
 しており、お能の名もお駒
 と変えている。



城木屋お駒の墓

お能が江戸市中を引き
 回された時に着ていたのが
 「黄八丈」の着物だったこ
 とから、江戸の女性達はこ
 れを若なくなつたという。
 この為「反物におくま一反
 けちをつけ」の川柳が残っ
 ている。
 区役所があるあたりに
 は増上寺の子院の良源院、
 光源院、貞松院が立ち並ん
 でいる。「浅岡飯炊きの井」



↑「根の木は残った」を想
 い出す、浅岡が使った井戸

東京タワー正面前
 の金地院は金地院崇伝が
 開山した寺。崇伝は家
 康、秀忠、家光の三代の
 將軍の政治顧問として仕
 えた高僧で武家諸法度
 の制定や朝廷外交に参
 画するなど幕府立法の基
 礎を作った。
 (続く)

キッチンスタッフ
 田口 禮子
 二月にキッチンに入り
 ました田口禮子です。



長い間在宅訪問介護
 に携わってきましたが、
 利用者さんの介助に自信
 が持てなくなり、辞めて
 普く家にこもってありま
 した。しかし、身体を動
 かしたいという気持ち
 が湧きあがり、再び仕事
 を始めて「葵」に入りました。
 人生の知恵を有してい
 らっしゃる多くの皆様に

◆編集委員会より
 お願いです
 「あおい通信」は、皆
 様からの原稿を募集し
 ています。担当飯島迄
 お申し出ください。

バスターアズレド

添添台 正男

昨年平成二十一年十二月の誕生日に、デイサービス突でバスターアズレドとして「さやえん」どの種と小鉢」を頂きました。

丁度寒い時期でしたので、今年二月の末頃に種を二日間水に漬けてから鉢に埋めました。数日後、芽が出たかなと覗いて見たら、何と土がバサバサ

に乾燥してしまいました。これは駄目かなと思いましたが、乾燥しない程度に水を差していると数日後に芽が出てきました。「ヤッター！ 良く堪えてくれた」と嬉しくなりました。



自分で作った野菜は特別美味いですよ！！

それから、虫が付かないように消毒したり、肥料を与えたりして大切に育てました。スカスカと育ち、莖が伸びてきたので柵を作ったりするうち、四月の末頃白い花が咲き、実が成り、五月には収穫ができました。

折角お祝いに頂いたのですから、何としても実を結びせようと手を掛けた結果が出て、お返しが出来たと喜んでいきます。今は、朝起きて朝顔の花を見るのを楽しみにしています。

旅 高橋 カツ

冷え冷えとした清々しい山峡、谷川のせせらぎの音を聞きながらつづら折りの山道を登って行く。時折、幼い鶯の囀りの声も聞こえてくる。富士見峠につき、高山より紫雲たなびく山々を眺めるのは、一幅の墨絵を観る思いであった。

此処より燧ヶ岳や至仏山を眺めつつ尾瀬ヶ原をアヤマ平らに向かう。残雪に白樺の林の若葉が薄緑に映えてとても美しい。山の冷気の汗の肌は何と心地よいことか。空気の美味しさを胸一杯に寄せを味わい、吸う。白樺が何本も立ち枯れして、痛

ましい姿をさらす。ああ、雪に覆われし草木の春の訪れをいくばくか待ちしことか。枝は縞められ、その幹は折られ、長年の風雪に耐えてきた痛ましい雄姿に下哭きつつ道を急ぐ。道は立木を縦に引き割った平均台の如き木道が上り下り延々と続く。これを作った下だった地元の方々の苦勞を偲びつつ歩ませていただく。七、八キロの道程を鳩待峠に若く。

如き美観である。姫石楠花の可憐な花も咲いている。吾亦紅や日光ギスガはまた若芽で花は見られないが、夏と共

海抜一四〇〇mの大湿原で、行けども行けども木道は遠かにかすむ程遠い。コロコロと蛙の声や郭公の長閑な啼き声も聞こえる。各池の浮島、水芭蕉の群生、キンポウゲ科のリュウキンカの群生は、さながら天上に遊びきらめく天の川を眺める



滝を見学に出掛ける。二キロほどの事で、気軽について行ったところが、想像を絶する登山となる。幾山野屏風のような急勾配の崖を上がり下り、一メートル幅の梯子を二、三回下りる。クサリにつかまりつつのロッククライミングである。高嶺の花の石楠花の美しさ、人々の手の届かぬ崖の下に誇らかに咲き匂う石楠花の美しさに眼をみはる。

如何なる花にも勝る美しさに、「人見るもよし見ざるもよし 我は咲くなり」の武者小路実篤さんの歌を憶い出す。

なるほど！ 町名の由来

町名には、それぞれ面白い由来があります。これから折にふれて、東京に残る興味ある町名の由来を探っていこうと思えます。

有楽町 信長の弟で、千利休の高弟、織田有楽斎の屋敷があったことに由来する。正式な町名は明治5年の町制施行の時と伝えられている。

平滑の滝は女性的であるのに対して、三条の滝の景観はすばらしく豪壮で男性的であった。永年の宿願叶いて見惚けつゝ、心算かまく尾瀬ヶ原群れ咲く花のつつがなし今は



上から左順に花 キンポウゲ、水芭蕉

任者の名前に由来する という説がある。丸の内 「丸」は城郭の意味。その内側という事から付けられた。江戸城の外郭が完成したのは寛政十三年(1803)で、この町名になったのはそれ以後と思われる。

大手町 大手門の前に広がる町であることから、この名が付けられた。大手門は、江戸城の総玄関で、勅使や將軍の出入り等に使用されていた。



世評・時評の原稿募集 世評・時評の原稿は、現在まで編修委員が交替で担当して参りましたが、あおい通信を御愛読くださる皆様にも、日頃思うこと、憤慨すること、世の中こんな素晴らしい等、是非お書きになって頂きたいと思ひます。投稿要領：600字（或いは葉の原稿用紙で55行まで） 保）飯島



柳住さんの作品：スタンドリース

祝田 現在の皇居外苑あたりを指した地名で、江戸城が築かれる前から其処にあった村の名前。いまは祝田橋にその名を残すのみ。 (横山秋鉄)

あおい俳壇

白子川 親ガモ子ガモ 散歩道
あかね雪 故郷の山 目に浮かぶ
新緑や 眺めて笑顔 露天風呂

相田美代子



7月履行会の結果 十六日(金)、「コサージュ」16名参加 歌舞伎観音寺 二十八日(水)、練馬文化センター。 猛暑日でしたが、勸進帳など素晴らしい舞台でした。

8月履行会の予定 麻糬大会 十八日(水)「現代」最近は葉の麻雀人口が増加しています。是非大会に出てみてください。カラオケ 二十日(金)、「コサージュ」

伊豆原温泉 旅行について 十月二十四日(日)、二十五日(月)一泊にて「かんぼの宿」に出掛けます。奮ってご参加ください。(事務局局長)

葉は「心と身体のリハビリ」で元気な「笑顔」を作ります